

Young Adult 通信 vol. 74

Young Adult 通信は中学生・高校生向けのお便りです。

特集テーマ

色いろいろ

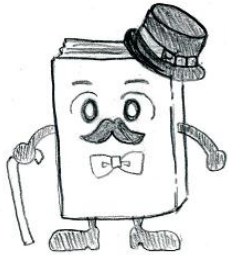
平成28年7月発行

9月末までこのテーマの本をヤングアダルトコーナーで展示しています♪

「色いろいろ」イラスト・ポスター展

市内中学生のみなさんが描いてくださいました。YAルームで展示中です。ぜひ、ご覧ください。

28年度キャラクター大賞



名前：フックman

特徴：紳士。本のことが大好きで表情豊か！

生みの親：一中・なっちゃんジュース さん



ツネコさん (七中)



れーなさん (七中)



やまさんさん (七中)



桜我 絵美描さん(南行徳中)

キャラクターの応募総数は **58** 件でした。
佳作のキャラクターは次号(10月発行)でも紹介します。



『ぴーさつ』

一中・もちこ. さん



『ゆら』

一中・らびつつ さん



『うーちゃん』

一中・にゃこ♪ さん



『シバマル』

一中・東條 希 さん



『図書野 しおり』

五中・MARIN さん



『まじかるくん』

下貝塚中・
冷蔵庫の裏に住むアイツ さん

佳作



『うえ木バチくん』

妙典中・小林茶まつあん. さん



『ブックツリー』

東国分中・Ezu さん

BLT活動報告 YAルームデコClub

BLT (Book Loving Teens=本を愛するティーンのみなさん)の参加型イベント**第2回YA ルームデコ Club**を3月30日(水)に開催しました！

参加してくれた小学生・中学生・高校生みなさんが、YA ルームに4月～6月の展示テーマである『世界とつながる』をイメージしたイラストや、折り紙・写真などで、さまざまな飾り付けをしてくれました。

参加してくれた小学生・中学生のみなさんです。

作品は、6月19日(日)までみなさんにご覧いただきました☆



写真で参加してくれた高校生も♪



ブラックボードのイラストも！



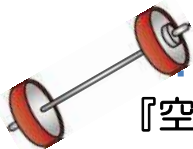
お部屋のガラス面にもイラスト☆

編集者から一言

- ・染織家の志村ふくみさんの染織の色は素晴らしいです！
- ・私のテンションが上がる色は、赤、ピンク、黄色かな～
- ・最近、色の種類が増えているけど、違いが分からない…
- ・こどもとしょかんの壁の色は何色？棚の色は？嗚呼、微妙。



色いろいろ



『空色バウムクーヘン』 吉野万理子／著 徳間書店



体重 42 キロの小柄な鏡池若葉^{かがみいけわかば}の夢はお笑い芸人になること。鎌倉の高校に入学して念願の相方の弥生を見つけた。お笑いコンテストに出場しようとはりきっていたが、なんの拍子かウエイトリフティング部に入部することになる。すぐに退部するつもりでいたが、なんだかずるずるといことになってしまった。でこぼこコンビの友情と、ウエイトリフティング部の部員達の成長を描く爽やか“空色”青春小説。表紙のバウムクーヘンの意味も探って読んでいくといっそう興味深い1冊。

『Gold Rush! ゴールドラッシュ! ぼくと相棒のすてきな冒険』

シド・フライシュマン／作 金原瑞人・市川由季子／共訳 矢島眞澄／絵 ポプラ社



ジャックは、自分と妹たちを親代わりに育ててくれたアラベラおばさまの財産や屋敷の危機を救おうと相棒の執事プレイズワージーとともに、ゴールドラッシュ色のカルフォルニアに船でむかう。長い船旅のあとやっと着いたサンフランシスコで、2人は無事に金鉱を掘り当てて、故郷のボストンにもどれるのだろうか。頭がよくて気転のきくクールなプレイズワージーと、元気で正直なジャックのドキドキハラハラの冒険に君もはまってしまおうかも。



『グリーン・グリーン』 あさのあつこ／著 徳間書店



翠川真緑^{みどりかわみどり}は「失恋した直後に食べたご飯が、ものすごく美味しかった」ことをきっかけに、地方の山間部に建つ県立喜多川農林高等学校の新米教師になる。赴任早々、真緑は生徒達から“グリーン・グリーン”という園芸・栽培科のクラスを受け持つ彼女にぴったりの渾名^{あだな}を命名される。都会育ちで、理屈っぽい性格だった彼女が自然に囲まれた未知の場所で、生徒達の抱える現実と向き合い「本物の教師」を目指そうとする物語。



『世界の美しい色の町、愛らしい家』 澤井聖一／構成・文 エクスナレッジ

国や文化の違いによって、家の建築様式、デザインや色使いは様々です。この本は、世界の町と家を13色のテーマにわけ、写真で紹介しています。パステルカラー、白、ピンク、黄、橙、紫、緑、アースカラーの家などがたくさんあります。あなたなら、何色のどんな家に住みたいですか？



『和の色のものがたり 季節と暮らす 365色』 早坂優子／著 視覚デザイン研究所

四季独特の色を季節ごと、イラストや解説もわかりやすく、旧暦に沿って細かく書かれています。有名な和歌や俳句などに取り上げられている色なども出ていて、古典文学を理解するときに役立ちます。姉妹編に「一歴史を彩る 390色」があり、こちらは日本の歴史と色。たとえば、日本史の中で色とかわり深い「冠位十二階」は階級によって着られる色が決まっています。6色の濃淡で12色になります。いにしえのファッションセンスに触れてみませんか。

